

「愛知県その道の達人」派遣事業 実施報告書

達人名	加藤 常德 先生 ( ロボットの達人 )	所属	ビジネスデザイン研究所
実施校	大府市立東山小学校		
実施日	平成21年10月27日(火曜日)		
実施学年・学級	5年1・2組(65人)		
教科等名	総合的な学習の時間	単元・題材名	ふれあい支え合う社会
授業の目標	あらゆる世代や生活場面に対応したコミュニケーションロボットの実際について体験的につかんだり、それが作られた社会的背景について考えたりすることができる。		
授業の実際	 <ol style="list-style-type: none"> <li>1 達人の紹介を聞く。(教師)</li> <li>2 ロボットの歴史について知る。(達人)</li> <li>3 ロボットの種類や用途について知る。(達人)</li> <li>4 福祉・医療用に開発されたロボットについて知る。(達人)</li> <li>(休憩)</li> <li>5 グループに分かれて、ロボットとのふれあいを体験する。(達人・教師)</li> <li>6 達人に質問したり、感想を述べたりする。(教師)</li> <li>7 達人にお礼の言葉を述べる。(教師)</li> </ol>		
児童生徒の感想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こちらが話したことを聞いて、ちゃんと答えたり歌を歌ったりしてくれるロボットがいるなんて、びっくりした。</li> <li>・恐竜ロボットをだっこしたら、いびきをかいて眠った。まるで生き物みたいだと思った。</li> <li>・思ったより値段が安かった。</li> <li>・愛知万博でも見たけれど、実際にさわってみることができてうれしかった。</li> <li>・わたしの家にも、買ってもらったロボットがいるけれど、今日見たのは、それよりもたくさんのができて、すごいなあと思った。</li> </ul>		
教師の感想	前半は、ロボットの歴史や開発、用途などについて、やや難しい話があったが、後半は、実際にいろいろなロボットに触れたり会話をしたりする体験的な学習となり、児童も進んでロボットと触れ合い、楽しい時間を過ごすことができた。現在の最先端の技術やロボットの存在意義について体感でき、すばらしい時間となったと思う。		